

石川工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	建築・地域空間形成論	
科目基礎情報							
科目番号	0002			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	環境建設工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	適宜プリントを配布する。						
担当教員	村田 一也						
到達目標							
1. 近代という時代構造を理解し、説明できる。 2. 機械論的世界を認識し、説明できる。 3. 認識することと制作することとの相関が理解できる。 4. 都市理論の系譜について説明できる。 5. 建築理論の系譜について説明できる。 6. 様式理論の系譜について説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安（優）		標準的な到達レベルの目安（良）		未到達レベルの目安（可）		
到達目標 項目1, 2, 3	近代的世界認識について理解し、説明できる。		近代的世界認識について理解している。		近代的世界認識を知っている。		
到達目標 項目4, 5	建築・都市理論の系譜について、理解し、説明できる。		建築・都市理論の系譜について理解している。		建築・都市理論の系譜について知っている。		
到達目標 項目6	様式理論の系譜について、理解し、説明できる。		様式理論の系譜について、理解している。		様式理論の系譜について知っている。		
学科の到達目標項目との関係							
創造工学プログラム B1専門(建築学) 創造工学プログラム F1専門(土木工学)							
教育方法等							
概要	近代から現代に至る建築や都市の形成および理論の系譜を辿り、そこから現代的な建築・都市に纏わる諸問題への解答を得ようとする。建築・都市理論の構築とその背景としてある人間の文化的・社会的・思想的行為との関連性から現在の建築的・都市的状況を把握し今後の在り方を探る手がかりを得ようとする。						
授業の進め方・方法	学習した内容の確認、自主的な研究を評価するために、レポートを出題する。 地域・都市計画、西洋建築史、近代建築史、建築デザイン論						
注意点	単に知識のみの習得ではなく、計画者の立場に立って考えながら学ぶことが大切です。 新聞・雑誌・ニュース等で見られる関連情報に関心を持ち、自分なりの問題意識を持つことが大切です。 配布するプリントをよく読み、十分理解すること。 成績の評価基準として60点以上を合格とする。 中間試験および期末試験を実施する。 定期試験（80%）、レポート（20%）						
テスト							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	機械論の系譜 1 近代建築理論の状況		機械論の古代から近代への移行について理解している。		
		2週	機械論の系譜 2 近代建築理論の状況		機械論の古代から近代への移行について理解している。		
		3週	身近な機械論 機械論と建築理論		認識と政策について理解している。		
		4週	機械論的世界像に基づく社会と建築・都市 1		機械論的世界像について理解し、説明できる。		
		5週	機械論的世界像に基づく社会と建築・都市 2		機械論的世界像について理解し、説明できる。		
		6週	機械論的世界像に基づく社会と建築・都市 3		機械論的世界像について理解し、説明できる。		
		7週	近代の超克と現代の様相		近代理論から現代的思潮への移行について理解できる。		
	2ndQ	8週	都市理論の系譜 1 都市と建築物		都市理論の系譜について理解できる。		
		9週	都市理論の系譜 2 都市と建築物		都市理論の系譜について理解できる。		
		10週	建築理論の系譜 1 建築とその理論		建築理論の系譜について理解できる。		
		11週	建築理論の系譜 2 建築空間とその理論		建築空間論の系譜について理解できる。		
		12週	様式理論の系譜 1 建築様式と建築理論		様式理論の系譜について理解できる。		
		13週	様式理論の系譜 2 建築様式と建築理論		様式理論の系譜について理解できる。		
		14週	様式理論の系譜 3 建築様式と建築理論		様式理論の系譜について理解できる。		
		15週	前期復習				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験		ポートフォリオ		合計		
総合評価割合	80		20		100		
基礎的能力	0		0		0		

專門的能力	80	20	100
分野横断的能力	0	0	0